

おやこで発見！夏休みの自由研究にも！

ぶんらく

の

エス・ディー・ジーズ

SDGs!



～文楽人形のお話と大道具「波布」体験～

中央区にある国立文楽劇場は、世界に誇る「文楽」の活動拠点です。文楽の本拠地・国立文楽劇場で文楽人形のお話を聞いて、大道具「波布」体験からSDGsを学びましょう！

と き 令和4年 **8**月 **7**日(日)

10:30～12:00(10:00受付)

ところ 国立文楽劇場 大道具製作室
(中央区日本橋1丁目12-10)

定員・対象 小学生以上の子どもと保護者30名
(往復はがき1枚につき保護者1名子ども2名まで)
※未就学児はご参加できません。
※中央区在住・在勤・在学者優先

参加無料 事前応募制
申込締切 **7月11日(月)必着**

※応募多数の場合は、区内在住・在勤(在学)者を優先して抽選のうえ、返信ハガキにて7月22日までに返送します。

内 容 お話と大道具体験
講師 山添寿人(「文楽」舞台大道具方)
文楽人形の解説
講師 吉田和馬(人形浄瑠璃文楽座技芸員)他

会場アクセス



Osaka Metro(堺筋線・千日前線)「日本橋」駅、近鉄奈良線「近鉄日本橋」駅下車 7号出口より東へ90m エレベーターご利用のお客様は10号出口エレベーターをご利用ください。 ※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



昨年度の様子

■SDGs(持続可能な開発目標)■
2015年国連サミットにて全会一致で採択された「誰一人取り残さない」持続可能な社会実現のため、2030年をゴールとする17の国際目標のこと。2025年の大阪・関西万博は、世界の英知を結集しSDGs達成に貢献することを目標としています。

「中央区ゆかりの文楽」
江戸時代初期、人形浄瑠璃は大坂道頓堀で始まり、19世紀初めに「文楽」の名称の由来ともなった初代・植村文楽軒が人形浄瑠璃小屋を開きます。その後、1984年に現在の大阪市中央区日本橋の地に国立文楽劇場が開場し、2008年に文楽はユネスコ無形文化遺産に登録されて日本の三大楽劇の一つとなりました。

応募方法 往復はがきに下記の項目を記入し郵送ください。

- ①参加者名(はがき1枚につき保護者1名子ども2名まで)
- ②子どもの学年・学校名
- ③郵便番号・住所(区内在勤の場合は勤務先も)
- ④日中連絡が取れる電話番号
- ⑤手話通訳を希望される方や、車いすでお越しになる方は、その旨をご記載ください

申 込 先 〒663-8184 西宮市鳴尾町3丁目6-20
日本伝統芸術文化財団「文楽」係
問 合 せ 電 話 0798-48-5570(9:00～17:00 日本伝統芸術文化財団)
メール nishinomiyanohgakudo@gmail.com

主 催 大阪市中央区役所市民協働課
企画/運営 一般財団法人 日本伝統芸術文化財団

【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用や手指消毒などのご協力をお願いします】
・来場前、検温や体調を確認して、37.5度以上の発熱や、息苦しさ、だるさ、頭痛、咽頭痛などがあつた場合は参加できませんのでご了承ください。
・当日、受付にて手指消毒と検温をお願いするとともに、咳エチケット、手洗い、マスク着用をお願いします。
・席や行列はソーシャルディスタンス(社会的距離)を確保するようご協力をお願いいたします。

＜記載例＞

往信の宛名面	返信の文面
〒630-0000 文楽係 日本伝統芸術文化財団 西宮市鳴尾町3丁目6-20	白紙

返信の宛名面	往信の文面
〒630-0000 住所・名前 申し込みの方	①参加者氏名(子ども・保護者) ②子どもの学年・学校名 ③郵便番号・住所(区内在勤の場合は勤務先も) ④日中連絡が取れる電話番号 ⑤手話通訳を希望される方や、車いすでお越しになる方はその旨をご記載ください。